

大溝校区第2回の校区づくり計画検討会を開催します！

第1回目の校区づくり計画検討会は、10月22日大溝小学校で開催されました。大溝校区コミュニティ活性化委員会の委員を中心に、大溝校区が目指す「ありたい姿」(下記参照)を実現していくためのアイデアが200以上出されました。出されたアイデアは第2回の検討会において「自分たちでできるかどうか」などをさらに深く話し合います。(アイデアを取りまとめたものは2~4ページに掲載しています。)第2回検討会では第1回のふりかえりの時間をしっかりと取りますので、初めての方もぜひご参加ください。



大溝校区が目指す「ありたい姿」(将来像)

- | |
|---|
| 1 全ての世代が主役となり、みんなで盛り上がり、ワクワクする魅力ある大溝校区 |
| 2 あいさつがあふれ、みんなで支えあって笑顔で暮らせる安心安全な大溝校区 |
| 3 地域に住むみんなで繋がり、ふるさとの伝統文化や行事、自然豊かな環境を未来に繋ぐ(継承する)大溝校区 |

校区づくり計画策定のスケジュール

- ★第1回 10月22日(日) 終了 ◆時間 9:30~12:00
- ★第2回 12月10日(日) ◆場所 大溝小学校 視聴覚室
- ★第3回 R6. 2月18日(日)

◎ただいま校区づくり計画を一緒に考えていただける方を募集しています。

年齢問わず誰でも参加できます。

お申込みは 大溝コミュニティセンター ☎0944-78-1966 9時~17時まで
(土・日祝日を除く)申込期限は12月7日(木)まで。

今年度の事業計画

- 校区づくり計画の策定
- 石丸山公園 ホリーナイト事業(R5.12月)点灯式12月2日(土)17時~ 点灯期間12.2~1.12
- 石丸山公園 堀干しまつり(R6.1月27日)
- 石丸山公園 桜まつり(R6 3月)

編集後記 先日大溝校区の秋のイベント「さるこいフェスタ」が無事終了しました。次は、石丸山公園でイルミネーションイベントが開催されます。堀に映るイルミネーションは大木町ならではのものとなっています。また大木町に帰ってくる人々に「おかえりなさい」の気持ちを込めてイルミネーションを光らせています。皆さん是非お越し下さい。 井手

1. 全ての世代が主役となり、みんなで盛り上がり、ワクワクする魅力がある大溝校区

みんなで盛り上げられる
イベントの開催

交流系

大溝校区全体のまつり

石丸山公園を活用したイベント

花見や月見など季節ごとのイベント

文化系

楽器発表会などの文化祭

昔の遊びの伝承など地域を知るイベント

スポーツ系

これまでのスポーツ行事の見直し

ウォーキングやラジオ体操などみんなが参加できるスポーツ

すべての世代が主役となれる
出番づくり・仕組みづくり

人の持ち味や特技などを生かす仕組みづくり

高齢者がひきこもらないように楽しく参加できる出番づくり

全地区に青年部をつくるなど、全ての人に役割をつくる

転入者を含めて、近所づきあいや仲間づくりがうまくできる仕組みづくり

次世代を担う子どもたちが、イベントや地域づくりを企画できる仕組みづくり

情報共有のための大溝新聞の発行

ワクワクする魅力ある
地域づくり・拠点づくり

しゃれたカフェや世代間交流できる拠点を つくる

花を植えたり、家の外装を明るくしたりして、景観を整える



2.あいさつがあふれ、みんなで支えあって 笑顔で暮らせる安心安全な大溝校区

顔見知りの
きっかけとなる
あいさつの充実

スタンプラリーやウォーキングなどのイベントと組合わせて、
あいさつ運動を広げる

中学生をモデルとするなどしてあいさつ実践者を増やす

登校時など普段からあいさつが交わせる機会をつくる

顔見知りになれる
イベント等の開催

子どもを含めて地域みんなが集まれる場をつくり雑談をする

回覧板などを使って情報共有

身近な公民館を活用した交流事業

みんなで支える仕組みづくり

ウォーキング大会などを開催して危険個所点検をする

困りごとを気軽に相談できる体制や仕組みをつくる

見守り隊を充実するために、子どもたちとの交流や体制をつくる

見守り隊の帽子の制作など、見守り活動が充実するためのツール
を準備する

向こう三軒両隣の助けあいの仕組みづくり

事業所などの協力を含めて、ながら見守りを行う

危険予知トレーニングとしてライフジャケットを着用して
水辺や水上での体験のほか、救命救急法などを学ぶ

避難訓練、避難所運営訓練や災害用バッグを増やすなど、災害に
備える

安心安全を支える
施設の整備

朝の見守りなどに活用できるベンチの設置

グリーンベルトなど通学路の整備

信号機など交通安全施設の整備

通学路などを明るくする街灯の整備

3.地域に住むみんなで繋がり、ふるさとの伝統文化や行事、自然豊かな環境を未来に繋ぐ（継承する）大溝校区

ふるさとの良さへの気づき

子どもや親子で参加できる行事づくり

再発見を促す風景写真のコンテストやネイチャーゲームなどの実施

食文化などを伝えるマルシェや料理教室、アンテナショップの出店

SNSなどを活用して、各地区で行われている行事の紹介

実践につながる学びや仕組み

小中学校において学習する機会をつくる

担い手づくりや技術を継承していくための組織づくり

川まつりなど伝統行事の主旨ややり方がわかるマニュアルづくりや講習会の実施

昔から行われてきた、農作業などの体験

未来に繋ぐための実践

久留米餅など伝統工芸品を継承するための活動

もあげ、ごみあげ、堀干しなど堀の維持管理作業の実践

川祭りや左義長など伝統行事の継続的な実践

堀のいきものなど生物の保護・保全

堀を使った新たなイベントの実施